



佐々木中学校だより

E-mail sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp

電話 0254(27)2505

「実社会で役に立つ」力を身に付ける

広島県や岡山県が甚大な被害を受けた「西日本豪雨」から1週間余りが経ちます。二百人以上の人命が奪われた平成最大の豪雨災害とされています。被災直後から始まったボランティア活動では、連日の猛暑の影響もあり、ボランティアに取り組む人の中にも熱中症で倒れてしまう方もいるそうです。知識として、自然災害の猛威や危険性を理解していても、「自分（の地域）だけは絶対大丈夫」と、根拠のない過信をしてしまいがちです。全国各地で発生する甚大な自然災害の報道に接する度に、防災への常日頃からの備えが重要だと痛感します。



地域の方と共に学んだ「防災学習」

佐々木中学校では、7月12日（木）に佐々木地区自主防災会の方々をはじめとする地域のみなさん12名からもご参加いただき、全校生徒が「佐々木地域の防災活動のために、私たち中学生ができること」について話し合いました。私たちが生活する佐々木地域が大きな地震に見舞われ、佐々木中学校が「避難所」として開設されたという想定です。中学生も避難所運営側の一員として、どう判断し、どう行動するべきかを考えました。グループで考え、話し合い、意見を交わす中で、私たち中学生も「助けてもらう」側ではなく、小さな子どもやお年寄りなどの社会的弱者と言われる人々を「助けてあげる」一員でなければならぬという自覚が高まりました。グループでの話し合いの中では、佐々木地域にお住まいのみなさんからの「それってどういうこと？」「もう少し詳しく教えて」「では、〇〇になったらどうするの」などの言葉が、中学生が状況を理解し、考え深めるためのよいアドバイスとなりました。防災学習終了後に、参加していただいた地域のみなさんからご感想をお聞きしました。

〇本当に自然災害が発生したときに、中学生を頼りにしたいと実感しました。みんなが困ってしまうような自然災害のときに、もしかして一番頼りになるのは、きっと若い力のある中学生ですね。

〇生徒の発想がユニークで、冷静な視点をもって状況判断していることに感心しました。自分が生活する集落では、日中は若い人が働きに出るので、高齢者だけになります。地域の私たちも防災に関する講話などを聞いて、自分たちの力で地域防災のために何ができるかを考えなければならないと感じました。

自然災害などの状況では、多くの正確な情報を集め、正しく判断し、率先して行動できる力が求められます。どんな状況にも適切に対応できる力を身に付けるためにも、社会性が身に付いており、他の人と豊かな人間関係を築くことができ、自分の考えを相手に正確に伝え、相手の気持ちを思いやることのできるコミュニケーション力を今から培うことが必要です。それこそが、中学生が社会の一員として成長したときに、最も必要となる力に違いありません。

* 「防災学習」の様子は、次号「学校だより」（今年度第5号）でお伝えします。

剣道部 全員でつかみ獲った団体戦準優勝

下越地区剣道大会は、阿賀野市水原体育館で開催されました。剣道部は団体戦で、予選リーグ、準々決勝と緊張の強いられる戦いを勝ち抜き、4校による決勝リーグでは2勝1敗の成績で準優勝に輝きました。また、個人戦でも、伊藤考生さん（2年）が第5位（ベスト8）に入賞しました。

団体戦の主な結果

団体戦	予選リーグ	対 荒川中	勝ち	リーグ戦2勝1敗 で準優勝
	準々決勝	対 五泉中	勝ち	
	ベスト4による リーグ戦	対 聖籠中	勝ち	
		対 本丸中	負け	
		対 水原中	勝ち	

IK（3年 副将） 下越大会では、悔しさが残りました。県大会では、下越大会での悔しさを晴らしてきたいと思います。そのために、一試合一試合に全力を出し切り、思いっきり楽しみ、プレッシャーにも打ち克って自分の持てる力全てを出し切って勝利をもぎ取ってきたいです。応援よろしくお願ひします。

IK（2年 大将） 下越大会を戦ってみて、自分がこれまで練習で培ってきた技や力を全然出すことができませんでした。しかし、結果は個人戦で5位、団体戦では2位という結果を収めることができました。自分なりになかなか良い結果だったので、自分の力を全て出すことができない戦いであっても、他校選手との対戦である程度の結果を残すことができる力が付いてきていると実感しました。県大会では、とにかく全力が出せるように頑張ること、そして、一戦ごとの気持ちの切り替えをしっかりと、直前の試合を終えた後に抱いたモヤモヤした気持ちを次の試合に引きずらないように心掛けて、目の前の試合に新たな気持ちで臨み、全力で戦えるようにして、一戦一戦がんばりたいと思います。

OT（2年 先鋒） 僕は、個人戦2回戦敗退で県大会の個人戦への出場はできませんが、団体戦で準優勝でき、県大会への出場権を得ることができました。下越大会での試合を通して課題が見つかりました。それは、技を打った時は必ず最後まで打ち切ることができるようになることです。技を中途半端に打ってしまうと、技が決まりません。これからの試合では、技を決めるために、一つ一つの技を打ち切るようにします。県大会では、全員の力で団体戦優勝を目指してがんばります。

SM（2年 中堅） 今回の大会では、個人戦2回戦敗退、団体戦準優勝という結果でした。結果には満足いかない部分もありましたが、大会を通して得



ることができたものがあります。それは、チームとしての雰囲気や試合に臨むときの気持ちの持ち方が試合の勝敗の流れを大きく左右するという事です。H 中学校との対戦では、試合の流れが変わったときに、自分たちも気持ちが弱気になり、その流れを変えることができないまま、試合が終わってしまいました。県大会では、相手チームのほうに流れが傾きかけても、流れを佐々木中チーム側に戻すことができるような試合をしてきたいです。

YK (2年 次鋒) 下越大会では、チームが一丸となり、苦しい戦いも勝ち抜き、団体戦準優勝で県大会出場権獲得という結果を収めることができました。チーム全体としては次の大会に進出できるよい結果だったと思います。個人的にも、今までの試合ではあまりできなかった技を決めることができた試合もあり、その点では成果もありました。その一方で、自信をもって試合に臨むことができず、自分の最大限の力を出すことができない試合もありました。県大会までの短い練習期間には、コーチから指導していただいた点を改善できるように努力して、自分の課題点を少しでも多く克服して、県大会では地区大会以上に大活躍したいです。

YH (2年 先鋒) 僕自身の試合を振り返ると、全力で相手に向かって行けず、練習してきた動きが少ししかできませんでした。最後まで戦い抜こうという気持ちで試合に臨みましたが、個人戦では自分で納得のいく試合ができないまま敗退しました。また、団体戦では2試合に出場する機会をもらいましたが、1試合目は少し不本意な結果で終わってしまい、2試合目も自分が思い描いていたような試合運びができず、課題が残りました。県大会では、各地区を勝ち上がってきた強いチームが出場してくると思いますが、強敵にも恐れることなく、佐々木中学校剣道部としてのプライドをもって全力で戦い抜き、全員で優勝を掴みとり、優勝旗と優勝カップを持って帰ってきたいです。それが僕の目標です！



跳べ！投げろ！駆けろ！ 陸上部4名が県大会出場！

胎内市陸上競技場で下越地区陸上大会が行われました。1日目は降雨、2日目は猛暑という天候条件のなかで、陸上部員が全力を發揮して大活躍しました。入賞者（8位まで）は次の表のとおりです。

	種目	生徒名(学年)	成績
男子	走幅跳	SY(3)	準優勝
	三段跳	SY(3)	準優勝
	円盤投げ	YR(3)	8位
	3000m	IT(3)	8位
女子	100m	IA(3)	5位
	砲丸投げ	IM(2)	4位
	円盤投げ	SH(2)	5位
	四種競技	IM(2)	7位



3年 SY（走り幅跳び 準優勝、 3段跳び 準優勝）

地区大会では入賞することができましたが、自分の力を100%は發揮できず、悔しい結果になりました。県大会では、たとえ入賞ができなかったとしても、絶対に自己ベストを更新するジャンプをして、自分自身が納得できる結果を残して、いい気持ちで3年間の部活動を終えられるようにしたいです。そのためにも、県大会に向けて集中して練習に励み、ベストのコンディションで本番に臨みたいです。

3年 IA（100m 5位）

私は、下越大会で、100m 5位に入賞して、県大会出場権を獲得できました。自己ベストの更新ができたことは嬉しかったのですが、12秒台のタイムが出せませんでした。12秒台に、もう0.08秒届かなくて、とても悔しかったです。県大会では、これまで3年間の思いを胸に刻んで、12秒台を目指して走り、自己ベストを更新します。



3年 IT（3000m 8位）

今回の大会では、3000m予選を突破し、決勝レースに進むことができました。今までの競技会では3000mを2本走ったことがなかったのですが、今回が初めてのチャレンジでした。大会2日目のレースでしたが、当日はとても暑く、予選を走り終えた段階でとても疲れてしまいましたが、決勝レースでも、自分を信じて走りました。とても辛いレースでしたが、仲間の大きな応援もあり、県大会に出場できる8位入賞を果たすことができたので、本当にうれしかったです。県大会では、自己ベストタイムよりも10秒以上早い9分台の記録を出すことが目標です。今まで走ってきたペースよりもさらにペースを上げて走るというレースプランを立てているため、今までで一番辛いレースになるかもしれないけれど、最後のゴールの瞬間まで、決してあきらめずにがんばりたいです。



2年 IM (砲丸投げ 4位、四種競技 7位)

私は、下越大会で、砲丸投げと四種競技に出場し、両方で、自己ベストを更新して入賞することができて良かったです。しかし、この結果は納得いくものではなく、改善すべき点も多く見つかりました。四種競技では2種目でベストが出せなかったし、砲丸投げでも目標としていた9m60cmに届きませんでした。今回の反省を踏まえて、見つかった課題を改善するための練習を工夫し、県大会では、砲丸投げでも四種競技でもさらに自己ベストを更新できるようにしたいです。その実現のために、県大会までの残り少ない練習時間を大切につかい、意識を高めていきます。大会を終えてから後悔しないように全力を出し切り、頑張ります。



柔道部 憧れの大舞台の県大会へ個人戦と団体戦で出場

下越地区柔道大会は、京ヶ瀬中学校体育館で行われました。女子団体戦と個人戦で県大会への出場権を獲得しました。

	生徒名(学年)	成績
女子個人戦	SR(3)	3位
	TH(2)	3位
男子個人戦	NT(2)	2回戦敗退
	YS(2)	2回戦敗退

出場した選手全員が個人戦で勝利を収めました。



3年 SR 県大会への出場権を獲得

できました。県大会は、個人戦の各階級で下越地区大会よりも出場する選手数も多くなり、各地区の強豪選手が多数出場してきます。厳しい戦いが予想される、レベルの高い大会でも、よい結果を残せるように、下越大会で課題と感じた点を改善していきけるようにしっかりと練習を積み、県大会という大舞台でも、相手に全力でぶつかっていきたいです。

2年 TH 定期テストが終わり下越大会まで残り約2週間という期間のなかでの練習が、私を県大会へ導いてくれたと思います。その2週間には、「くみぎわ投げ込み」という技を新しく体得しようと練習に励みました。この技を身に付けることが私にとって一番大切でした。私は、同じ階級に出場する他の選手よりも身長がやや高めなので、その身重差を生かして、つり手を高めに持ちながら、相手と組み合った時の一瞬のスキを逃さずに技をかけるという投げ込みを重点的に練



習しました。本番の試合の場でも練習の成果を出すことができ、個人戦3位という成績を収めることができました。しかし、相手のバランスを崩そうとする動きや、返し技を出すタイミングがあったのに返し技を出せなかったという反省点もあるので、その部分を改善していきたいです。柔道を始めてからずっと念願だった県大会という憧れの舞台で、最初に対戦する相手が、私と同じく中学1年生から柔道を始めた選手なので、絶対に勝ちたいし、ベスト8に入ることができるように頑張ってきます。



新潟県通信陸上大会に2名の選手が出場しました。

7月13日（金）にデンカビッグスワンスタジアムで通信陸上大会が行われました。県内全中学校から強豪選手が集まる中で、佐々木中学校からは3年男子Sさん（走り幅跳び）と3年女子Iさん（100m、200m）が出場しました。大舞台に臆することなく試合に臨み、自己記録更新を目指して戦い抜きました。



夏休みの部活動について（ご家庭へのお願い）

- 部活動には、「水筒」や「タオル」、必要な場合には「着替え」を持たせてください。
- 8月13日～15日の「お盆」期間には、学校施設も閉鎖されます。部活動は行いません。
- 雷雨や急な豪雨などの天候の急変も起こり得ます。部活動からの下校時に雷雨に見舞われたときには、慌てずに、まずは、身の安全を確保するようにご指導ください。

飯島集落のみなさんと一緒に、2年生・1年生がそば打ち体験

6月26日（火）の午後、1年生と2年生がそば打ち体験を行いました。当日は、飯島集落のみなさんが10名以上来校し、生徒たちに、「そばを打って食べる」ところまでの作業の基本について、見本を見せてくれて、生徒たちが自分たちの手でそば打ちができるように、辛抱強く見守っていただきました。

昨年度の夏休みに当時の1年生が、飯島集落のみなさんと一緒に、古太田川治水公園脇の畑で種まきをして、秋に収穫をしたそばの実を、最終段階の食べて味わうところまでようやくみんなで体験することができました。



2年男子 WT

あまり美味しいそばができませんでした。特に、そばを食べたときに、時々“じゅり”とした食感があり、それが美味しくできなかったことの原因のひとつです。最初は、コンスターチに原因があるのかと考えましたが、夏希くんに否定されました。そうすると、あの「じゅり」とした食感は何だったのだろうと疑問が残りました。帰宅後の兄にこのことを話したら、兄から「すぐに美味しいそばができるものじゃあない。」と一言。やはり、こういうことは経験を積むことが一番大切なんだ、と納得しました。

2年女子 SH

そば作りの工程は比較的簡単ですが、実際にやってみると、力加減や混ぜ方など一つ一つの動作がとても難しく、大変でした。専門の道具を使って、麺に切ることができて、とても楽しかったです。（道具の名前を聞き忘れちゃった）教わっていくうちに、飯島集落の方とだんだん話せるようになり、コミュニケーションもとれてきて、私たち中学生と地域の方々との交流が深まったと思うので、そば打ち体験とは別の面でも、今回はよい活動に参加することができました。

2年女子 MM

そば打ちはとても大変でした。そば粉をふるいにかけて後で混ぜるときには指を立てて混ぜることが大切なことなど、上手くやるためのポイントがたくさんあって、それらに注意して一つ一つの作業をこなすことが難しかったです。布海苔（ふのり）を加えてしばらく混ぜていると、少しずつ固形になってきて、それをさらにこねている時には、混ぜていた時とは全然違ってとても堅くなりました。薄く伸ばしていく作業では、力加減に注意し、切る作業では、あまり太くならないように細く切るように心掛けました。どの工程も楽しかったです。そばの出来ばえは、少し粉っぽくて、太さがバラバラで弾力があり過ぎるのもあったけど、

おいしかったです。自分たちで作ったそばなので、なおさらおいしかったです。

2年女子 NR

1・2年生が10グループに分かれて、そば打ち体験を行いました。前半の5グループがそば打ちに取り組んでいる時に、私たち後半組は、薬味を作ったり、お湯を沸かししたりしました。1年生がネギを刻むのがとても速くてびっくりしました。後輩には負けられないと思い、私も速く切りました。そば打ちを始めると、そば粉と小麦粉を混ぜる作業がとても楽しかったです。ふるいにかけて後で、布海苔(ふのり)を入れて固めていくと、大きな丸いそば粉のかたまりができました。次の綿棒で伸ばす作業は、とても難しくて、力を入れすぎて麺が切れてしまわないように、力を調節するのに苦心しました。とても楽しかったし、よい思い出になりました。

2年女子 KR

そば打ちをしてみて、思っていた以上に力仕事だということが分かりました。何をするにも集中力と体力を使うので、最後のそばを食べる頃には疲れてしまいました。でも、疲れた分、そばがおいしかったです。見た目は不格好でも、味はよかったです。自分で作ったものだからなおさら美味しく感じるんですね。私たちが去年の夏休みに種をまいたあのそばが、こんなにおいしいものになったと思うと、うれしいです。またやってみたいです。



ふるいにかけて、混ぜて、こねて、伸ばして、切って、ゆでて、みんなで、いただきました。

1年男子 KT

2年生の先輩たちと一緒にそばを打ってみて感じたことは、そばを作るということが意外に難しかったことです。2時間をかけて、そば粉をふるいにかけて、まぜ、切り、茹でて食べる作業を2年生の先輩たちとやって、今まで以上に2年生と仲良くさせてもらい、楽しい時

間を過ごせたことがとてもうれしいです。8月に、飯島集落の人たちと一緒に種植えをやってみたくなりました。

1年女子 GS

そば打ちの作業を見ていると、最初は、簡単そうだなと思っていたけど、実際やってみるとなかなか上手にできなくて、飯島集落の方々はすごいなと思いました。麺棒（めんぼう）で麺を伸ばす時も、「猫の手みたいにすると上手に麺棒が動かせる」ことを教えてもらいました。おいしくできて良かったです。

1年女子 AY

自分でそばを打って食べてみるまでには、けっこう時間がかかり大変でした。そば粉をこねていく作業が一番時間がかかりました。その後、一定の幅に切り、ゆでて食べました。ちょっと粉っぽかったけど、おいしかったです。みんなで作ることができたことが楽しかったし、飯島地域の方にいろいろ教えていただき、勉強になりました。本当に楽しかったです。

1年女子 TA

自分でそばを打ってみて、初めてやってみたのでうまくできるかなと不安でしたが、自分が思っていたよりはうまく打つことができました。でも、すごく難しかったです。自分で打ったそばは、おいしかったです。他の班の人たちからも、「この班（私たちの班です）のそばが一番おいしい」と言ってもらえてうれしかったです。

1年女子 HN

そばを作る工程には、思ったよりもたくさんの作業があるんだなと感じました。そば粉と小麦粉をまぜたり、そばを切ったりすることには、上手くするためのコツがあるのだと分かりました。私は、コツがなかなかつかめませんでした。でも、飯島集落のみなさんがいてねいに教えてくださったので、自分でも少しはうまくできるようになったかなと思いました。



飯島集落のみなさん、よろしくお願いします



薬物乱用防止教室で、健康でいられることの大切さを学びました

3年生を対象とした「薬物乱用防止講演会」を、7月6日（金）に実施しました。学校薬剤師の高橋様から、講師を務めていただきました。飲酒や喫煙がくり返されることで、体にどれくらいの害が及ぶかについて具体的なデータを基に教えていただくことで、3年生の生徒も、自分の健康な体を適切に管理することが、人生を豊かにすることにつながっていくということについて理解を深めることができました。



3年女子 IT 「たばこ」の害につちえの話では、実際に吸っている人よりも、その周囲にいたばこの煙を吸ってしまっている人の方の身体に悪影響が及ぶということが意外でした。薬物については、医療機関で処方された薬でも、服用のし方を間違えると乱用につながってしまうことがあることを学ぶことができました。また、違法（危険）ドラッグがいろんな別名で売られていることや、ドラッグの種類がとても多くあることにも驚きました。今日学習した内容を覚えておいて、十分に気を付けたいと思います。

3年女子 MM 飲酒や喫煙の体に及ぼす害について詳しく知ることができて良かったです。特に、薬物については、扱い方を誤ることで、フラッシュバックに悩むケースや、自分自身を傷つけてしまうケースなどもあると教えていただき、「自分は絶対にやらない、近づかない」と改めて誓うことができました。

身の回りの危険を察知し、未然防止を心掛けよう

1) 海へ出かけたときには、「離岸流」に注意しよう。

・安易な考えで、遊泳や川遊びはしないこと。水遊びや魚釣りには、家族や責任のある大人と同伴ででかけること

2) 自転車運転では、交差点の一時停止、左右の安全確認を徹底すること

・携帯電話やイヤホンをしながらの運転は絶対にしない

3) 熱中症にならないように適度な水分補給と休憩を

・部活動中も、定期的に休憩をとりましょう。決して無理をせずに具合が少しでも悪くなったら、部活動の顧問に体調不良を伝えてください。

4) 夏は、ヒアリが発生しやすい季節です。

・昨夏は、全国各地でヒアリが大量発生しました。ヒアリに刺されると、アレルギー反応（アナフィラキシーショック）を起こす場合もあるそうです。

5) 落雷や夕立への注意

・夏の夕立は、あっという間に始まります。屋外で雷鳴が聞こえてきたら速やかな退避を。

6) 「新発田あんしんメール」が7月1日から新しくなりました。不審者情報や気象警報などの新発田市の防災情報等を受け取ることができます。



7月9日（月）の地域懇談会にはたくさんの方にお集まりいただき、ありがとうございました。

1年生が総合学習の時間に「地域学習」に取り組んでいます

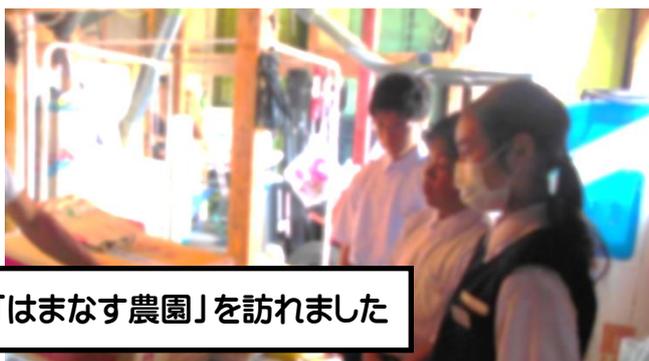
7月10日（火）午後、1年生が4つのグループに分かれての地域学習に行いました。当日は朝からとても暑い一日でしたが、1年生は暑さを苦にせずに元気に訪問先に元気に出かけていきました。1年生は、総合的な学習の時間のなかで、「地域学習」に取り組んでいます。今回は地域の方を訪問し、いろいろなお話をお聞きしました。



太子堂の歴史を学びました



養泉寺を訪問しました



「はまなす農園」を訪れました



飯島新田で佐々木の歴史についてお聞きしました

これから1年生は、地域訪問で得たものをまとめ、「自分たちの課題」を設定し、2学期以降に探究学習に入ります。

1年男子 SR 僕は太子堂について学習するグループです。太子堂は、聖徳太子にかかわる、日本全国の中でもとても歴史のあるものだというのを聞きました。太田川の写真も撮ってきました。見慣れている川ですが、きれいな川だなと改めて気が付きました。

1年男子 ED 鳥穴のIさんのお宅にみんなで出かけました。「コシヒカリ」や「つきあかり」など色々な種類の品種があることが分かりました。Iさんはとても優しい話し方で、僕たちが楽しく学べるように明るくお話ししてくださいました。田んぼの大きさを表す一反（いったん）という単位についても教えてもらいました。

1年男子 HS、TR 佐々木の歴史をたくさん教わりました。以前は、3年に一回くらい水害にたびたび襲われて、お米が作れなかった時もありました。水害から地域を守ってもらおうという願いもあり、どの集落にもお宮が一つあったそうです。感謝の気持ちを込めてあいさつすることと大きな声で返事をする事の大切さも教えてもらいました。